



と金ホームページに検索 →、と金クラブ将棋教室 H29. 3. 4 第166号 編集責任者 後藤克義

3月・弥生(やよい) 草木がいよいよ生い茂る月という意味。※「弥」には、いよいよという意味、「生」には生い茂るという意味があります。季節:仲春(ちゅうしゅん)※啓蟄(冬こもり)から清明の前日まで。草木がいよいよ生い茂る月という意味。



3月の花 シクラメン 沈丁花(ジンチョウゲ)椿(ツバキ) 雪柳(ユキヤナギ)ヒヤシンス ラナンキュラスパンジー

タンポポ 土筆(ツクシ)なずな 桃(モモ) 馬酔木(アシビ)ストック 猫柳(ネコヤナギ)こぶし **野菜** 水菜(みずな) 独活(うど) たけのこ 菜の花 ほうれん草 春菊三つ葉 牛蒡(ごぼう) など。 **桃の節句・3日 彼岸** 17~23日



教室での注意(必ず守って下さい)

- ① 出席簿にマル(○)をつけること。
- ② 名札を付けること
- ③ 帽子は取ること
- ④ 教室では大きな声や遊ばない
- ⑤ 対局をお願いします。負けましたとハッキリ言うこと。
- ⑥ 終了は勝った人が駒をしまうこと(王様・飛車・角・・・と順に数えて駒箱に入れて下さい。)



指し手を評価する用語 8つ (将棋ライター佐藤友康記)

指し手の評価 良い手・良くない手に分けてご紹介します。

- 1) **好手** 状況を良くする、良い指し手のことです。手の広い局面でとりわけ良いと思われる手のことを、好手と評価されます。駒の取り合いなどの一直線の進行では好手とは言いません。
- 2) **妙手** 好手の中でも、とりわけ巧妙な手や、ぱっと見では気づきにくい手のことを妙手(みょうしゅ)と言います。
- 3) **最善手** ある局面でいくつか良い手に見える候補がある中で、最も良い手と判断されたものを最善手と言います。2番目に良い手のことを次善手と言います。

良くない手に関するもの

- 4) **悪手** 好手の反対で、状況を悪くしてしまう指し手のことです。ある一手をきっかけに、局面が悪くなった、良かったはずの局面が互角に戻った、逆転してしまった、という場合にはその一手は悪手と評価されます。
- 5) **ポカ** 悪手の中でも、一気に悪くしてしまう手のことです。簡単な手を見落としてしまうことによって、駒を取られてしまうなど、うっかりしてしまったというニュアンスが含まれています。
- 6) **頓死(とんし)** 不注意・見落としにより、いきなり玉を詰まされてしまうことを頓死(とんし)と言います。本来すぐには詰まないはずが、逃げ方を間違えるなどで、即詰みになってしまうことです。プロ棋士は、数十手の詰みはすぐに読み切る方々ばかりですが、それでも思考の盲点に入ってしまうなどして頓死をしてしまうことがあります。
- 7) **疑問手** いくつか候補の手が見えていた中で、それとは違う、思わしくない手を指したときに疑問手と評価されます。局面が進んで少し形勢を損ねたときなどに、「あの手はどうだったのか疑問」のようにも言われます。検討された後には、「あの手は悪手だった」と評価されることもあります。 **どちらとも判断がつかないもの**
- 8) **勝負手** 手に秘めた狙いの成否に関わらず、局面を大きく変える手のことです。主には形勢を損ねている側の手段で、そのまま進んでしまうとどんどん悪くなってしまうため、勝負手を放つことで局面を動かしに行くのです。勝負手を放った瞬間には良いか悪いかの判断はつかず、後の展開によって判断されることが多いです。

なぜ 榧(かや)盤や柘植(つげ)駒が良いのですか。

高級盤に用いられる榧は、適度な硬さ、弾力、響き、芳香、美しい木目などが盤に最も適しており、さらに使い込むほどに出てくる餛飩色の色合いと艶など、すべての点で榧に勝るものはありません。近年では国内産の榧材はほとんど流通しなくなり、変わって中国産の榧の盤が主流を占めています。



最高級は御蔵島産島ツゲの盛上駒

御蔵島産の本つげ駒は、元来樹脂分を多く含んだものが多いので、椿油で磨くなら極々少量が良いと思います。「つげ」の持つほどよい堅さと弾力が駒に最適であり、何百年も前の昔から「駒はツゲに限るべし」と語られています。

2月開催の昇級・新入会者

2月11日開催分 伊藤克君5級昇、白木達也君6級昇、橋爪遼君7級昇・上級Bへ、鬼頭直寛君8級昇、杉浦悠生君11級昇、濱崎薫君12級昇。 新入会、不破寛登君9級認定中級Aへ、同、大草歩睦君11級認定・中級Bへ。

4月の開催日 愛知東邦大学・アクティブ・ラーニング(食堂) PM1:30~4;20

4月8日(第2土曜日)・4月15日(第3土曜日)